

Rejuvenating Chanoyu

A Retrospective on the SEN Families' Chanoyu Tradition Amid the Tokugawa-to-Meiji Transition



企画展

茶の湯の復興

幕末・明治の千家茶道を中心に

平成30年

9月14日(金)～10月21日(日)

休館日 9月18日(火)・10月16日(火)

午前9時～午後6時 入館は午後5時30分まで

さかい利品の杜 企画展示室

観覧料 一般:300円／高校生:200円／中学生以下:100円

※「千利休茶の湯館」「与謝野晶子記念館」の観覧券で企画展示室にもご入場いただけます。

主催：堺市

特別協力：表千家 裏千家 武者小路千家

SAKAI
RISHO
NO
MORI

さかい利品の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Akiko



三千家家元好 「三友棚」 聚光院蔵

背景文字：玄々斎筆 「茶道の源意」(部分) 今日庵蔵

茶の湯の復興

企画展

幕末・明治の千家茶道を中心に

本年は、1868年の明治維新からちょうど150年にあたります。
新しい時代の幕開けと共に、封建制度が廃止され、日本は新しい国家体制を構築し、欧化主義が瞬く間に社会に浸透し、伝統文化への人々の興味は薄れていきます。

このような時代のうねりの中で、千利休を祖とする表千家、裏千家、武者小路千家の三千家は、17世紀中期より大名家へ茶道役として仕官することで得ていた経済的基盤を失い、苦しい時代を迎えます。

そこで、三千家宗匠は共に手を携え、伝統文化の継承者として茶の湯の復興に向け、様々な努力を重ねます。また、宗匠らは活動の場を関西圏を中心とした地方に広げます。特に表千家11代家元碌々斎は、地方数寄者の支援を得て、東北から九州までの広範囲にわたり活動の場を広げます。

本展では、幕末から明治にかけて大きく変化する時代の流れの中で、茶の湯の復興における三千家宗匠の功績を振り返ります。また、三千家宗匠の活動を地方ゆかりの茶道具を通して紹介します。



玄々斎作「竹茶杓 堺八景」(八本ノ内) 個人蔵



碌々斎銘「古鉄花入 霞喰」個人蔵



一指斎筆「南宗寺廣州和尚香語ニ庵ノ絵」 個人蔵

講演会

「近代の茶の再出発」

講師：生形 貴重 氏(千里金蘭大学名誉教授)
日時：9月29日(土) 午後2時～午後3時30分
会場：さかい利晶の杜 講座室
定員：40名(先着順)
参加費：300円(展示観覧を含む)
申込方法：8月1日(水) 午前9時より受付開始

講演会

「千家茶道の近現代史」

講師：伊住 禮次郎 氏(茶道資料館副館長・今日庵文庫長)
日時：10月8日(月・祝) 午後2時～午後3時30分
会場：さかい利晶の杜 講座室
定員：40名(先着順)
参加費：300円(展示観覧を含む)
申込方法：8月1日(水) 午前9時より受付開始

必須事項(氏名・住所・年齢・TEL・FAX・ご希望の講演)を明記の上、TEL・FAX・HPからお申し込みください。

● TEL:072-260-4386 ● FAX:072-260-4725

● <http://www.sakai-rishonomori.com>「イベント案内・募集」欄より



ふりがな		〒	
氏名		住所	
年齢	歳	TEL	FAX
		ご希望の講演	
		☐ 9月29日(土) ☐ 10月8日(月・祝)	

※ご記入いただいた個人情報は当イベントに関するご連絡・ご案内にのみ利用いたします。個人情報の取扱いについて同意いただいた上応募ください。詳しくはさかい利晶の杜HPプライバシーポリシーの項目をご覧ください。

学芸員による 展示解説

・日時：9月22日(土)・10月5日(金) 各午後1時30分から20分程度
・場所：さかい利晶の杜 企画展示室(直接会場へお越しください)
・参加費：無料・申込不要(展示観覧券を事前にお買い求めください)

生誕140年記念
次回予告 「利晶で探る与謝野晶子コレクション」
平成30年11月2日(金)～12月16日(日)

